

教科	科目	単位数	種別	年次	
外国語	英語コミュニケーション I	3	必修科目	1年	
使用教科書	LANDMARK Fit English Communication I (啓林館)			担当者	

学習目標
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

学習方法
教科書の内容を中心にワークシート等を使い、英文を読み、聞き、話し、書き、問いに答えることを通して理解する。
また、それを用いて自分の意見を発表したり、他者と意見交換したりなどする。

育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。

以上の観点をふまえ、授業での取り組み、単元テスト、小テストや実技テスト、課題やレポートの実施状況などを総合的に評価します。

担当者から
ペアワークやグループワークなどのコミュニケーション活動を行い、様々な事柄について英語で理解を深める科目です。積極的に活動に参加するようにしましょう。また多くの支援を活用し、情報や考えなどを適切に理解したり、適切に伝えたりする基礎的な能力を養います。

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法	
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
4	自然科学	動物	動物の生態や生息環境について	○									動物に関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、動物についての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	動物に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	授業での取り組み 単元テスト 小テストや実技テスト 課題やレポート などを元に評価します
			それに関わる語彙や文法	○												
			自分の興味を述べる表現	○												
5	科学技術	テクノロジーや科学研究について	テクノロジーや科学研究について	○									テクノロジーに関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、テクノロジーについての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	テクノロジーに対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	
			それに関わる語彙や文法	○												
			研究について述べる表現	○												
7	環境問題	環境問題や自然について	環境問題や自然について	○									環境問題に関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、環境問題についての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	環境問題に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	
			それに関わる語彙や文法	○												
			調査について述べる表現	○												
9	国際社会	社会問題	社会問題や政治経済について	○									社会問題に関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、社会問題についての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	社会問題に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	
			それに関わる語彙や文法	○												
			自分の意見を述べる表現	○												
10	人物	偉人やある分野で活躍する人について	偉人やある分野で活躍する人について	○									人物に関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、人物についての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	人物に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	
			それに関わる語彙や文法	○												
			自分の経験を述べる表現	○												
11	異文化	異文化や多様性について	異文化や多様性について	○									異文化に関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、異文化についての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	異文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	
			それに関わる語彙や文法	○												
			自分の意見を述べる表現	○												
12	文化教養	スポーツ	スポーツの背景や意義について	○									スポーツに関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、スポーツについての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	スポーツに対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	
			それに関わる語彙や文法	○												

教科	科目	単位数	種別	年次
外国語	英語コミュニケーションII	4	選択科目	2年
使用教科書	LANDMARK Fit English Communication II (啓林館)			担当者

学習目標
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

学習方法
教科書の内容を中心にワークシート等を使い、英文を読み、聞き、話し、書き、問いに答えることを通して理解する。
また、それを用いて自分の意見を発表したり、他者と意見交換したりなどする。

育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。

以上の観点をふまえ、授業での取り組み、単元テスト、小テストや実技テスト、課題やレポートの実施状況などを総合的に評価します。

担当者から
ペアワークやグループワークなどのコミュニケーション活動を行い、様々な事柄について英語で理解を深める科目です。積極的に活動に参加するようにしましょう。また情報や考えなどを適切に理解したり、適切に伝えたりする基礎的な能力や、それを活用しさらに高める活動を行います。

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法	
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
4	自然科学	動物	動物の生態や生息環境について	○									動物に関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、動物についての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	動物に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	授業での取り組み 単元テスト 小テストや実技テスト 課題やレポートなどを元に評価します
			それに関わる語彙や文法	○												
			自分の興味を述べる表現	○												
5	自然科学	科学技術	テクノロジーや科学研究について	○								科学技術に関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、科学技術についての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	科学技術に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。		
			それに関わる語彙や文法	○												
			研究や調査について述べる表現	○												
7	自然科学	環境	環境問題や自然について	○								環境に関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、環境についての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	環境に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。		
			それに関わる語彙や文法	○												
			自分の意見を述べる表現	○												
9	国際社会	社会問題	政治経済や社会問題について	○								社会問題に関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、社会問題についての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	社会問題に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。		
			それに関わる語彙や文法	○												
			自分の意見を述べる表現	○												
10	国際社会	人物	歴史的偉人やある分野で活躍する人物について	○								人物に関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、人物についての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	人物に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。		
			それに関わる語彙や文法	○												
			自分の経験を述べる表現	○												
11	国際社会	異文化	異文化や多様性について	○								異文化に関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、異文化についての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	異文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。		
			それに関わる語彙や文法	○												
			研究や調査について述べる表現	○												

教科	科目	単位数	種別	年次	
外国語	英語コミュニケーションII	4	選択科目	3年	
使用教科書	LANDMARK Fit English Communication II (啓林館)			担当者	

学習目標
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

学習方法
教科書の内容を中心にワークシート等を使い、英文を読み、聞き、話し、書き、問いに答えることを通して理解する。
また、それを用いて自分の意見を発表したり、他者と意見交換したりなどする。

育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。

以上の観点をふまえ、授業での取り組み、単元テスト、小テストや実技テスト、課題やレポートの実施状況などを総合的に評価します。

担当者から
ペアワークやグループワークなどのコミュニケーション活動を行い、様々な事柄について英語で理解を深める科目です。積極的に活動に参加するようにしましょう。また情報や考えなどを適切に理解したり、適切に伝えたりする基礎的な能力や、それを活用しさらに高める活動を行います。

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法	
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
4	自然科学	動物	動物の生態や生息環境について	○									動物に関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、動物についての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	動物に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	授業での取り組み 単元テスト 小テストや実技テスト 課題やレポートなどを元に評価します
			それに関わる語彙や文法	○												
			自分の興味を述べる表現	○												
5	自然科学	科学技術	テクノロジーや科学研究について	○								科学技術に関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、科学技術についての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	科学技術に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。		
			それに関わる語彙や文法	○												
			研究や調査について述べる表現	○												
7	自然科学	環境	環境問題や自然について	○								環境に関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、環境についての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	環境に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。		
			それに関わる語彙や文法	○												
			自分の意見を述べる表現	○												
9	国際社会	社会問題	政治経済や社会問題について	○								社会問題に関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、社会問題についての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	社会問題に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。		
			それに関わる語彙や文法	○												
			自分の意見を述べる表現	○												
10	国際社会	人物	歴史的偉人やある分野で活躍する人物について	○								人物に関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、人物についての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	人物に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。		
			それに関わる語彙や文法	○												
			自分の経験を述べる表現	○												
11	国際社会	異文化	異文化や多様性について	○								異文化に関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、異文化についての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	異文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。		
			それに関わる語彙や文法	○												
			研究や調査について述べる表現	○												

教科	科目	単位数	種別	年次
外国語	論理・表現 I	2	必修科目	1年
使用教科書	Revised EARTHRISE English Logic and Expression I Standard (数研出版)		担当者	

学習目標
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

学習方法
教科書の内容を基にしたプリントを中心に授業を進めていくので、授業を大切に理解を深めてください。
自主的に英語を活用する態度を身に付け、実践していきましょう。

育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。

以上の観点をふまえ、
・授業での取り組み、単元テスト、小テスト、パフォーマンステストなどを総合的に評価します。

担当者から
授業で学んだことを理解し、ペアワーク、グループワークなどで実践して定着させましょう。

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法		
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4	自分や身近な人について	人物紹介	紹介する											自分や身近な人を紹介する表現を理解し、相手の注意を引く表現を適切に運用し、考えや気持ちを表現する基本的な技能を身につけている。	適切な表現を用いてテーマに沿って、自分や身近な人を紹介している。また、自分の気持ちや考えを表現している。	自分の活動を振り返りながら、適切な表現を用いてテーマに沿って、自分や身近な人を紹介している。また、自分の気持ちや考えを表現しようとしている。	単元テスト 小テスト パフォーマンステスト
			注意を引く														
6		好きなものを紹介	要約する											映画や本のあらすじを要約したり、感想や批評を述べたりする表現を理解し、学んだ表現を適切に運用し、考えや気持ちを表現する基本的な技能を身につけている。	適切な表現を用いて、あらすじなどを要約して紹介したり、内容に関する感想や批評を述べたりしている。	自分の活動を振り返りながら、あらすじなどを要約して紹介したり、内容に関する感想や批評を述べたりしようとしている。	単元テスト 小テスト パフォーマンステスト
			感想や批評を述べる														
8	日常生活について	道案内をする	提案・依頼する											提案する、依頼する、道順を説明するときの表現を理解し、学んだ表現を適切に運用し、考えや肝紙などを表現する基本的な技能を身につけている。	適切な表現を用いて、物事を提案したり、依頼したりしている。また、相手にわかりやすく道順を説明している。	自分の活動を振り返りながら、物事を提案したり、依頼したりしている。また、相手にわかりやすく道順を説明しようとしている。	
			道を案内する														
10		買い物	描写する											描写する、相槌を打つときの表現を理解し、学んだ表現を適切に運用し、考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。	適切な表現を用いて、わかりやすく物事を描写している。また、文脈に応じて相槌を打って、自分の考えや気持ちなどを表現している。	自分の活動を振り返りながら、わかりやすく物事を描写している。また、文脈に応じて相槌を打って、自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。	定期考査 小テスト パフォーマンステスト
			相槌を打つ														
12	したいことについて	行ってみたい場所	希望を述べる											希望を述べる、理由を述べるときの表現を理解し、学んだ表現を適切に運用し、考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。	適切な表現を用いて、具体的に希望を述べている。また、理論を一貫させて理由を述べ、自分の考えや気持ちなどを表現している。	自分の活動を振り返りながら、具体的に希望を述べている。また、理論を一貫させて理由を述べ、自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。	単元テスト 小テスト パフォーマンステスト
			理由を述べる														
2		友達に相談する	助けを求める											助けを求め、お礼や感謝を伝えるときの表現を理解し、学んだ表現を適切に運用し、考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。	適切な表現を用いて、状況を整理して助けを求めたり、お礼や感謝を伝えたりして、自分の考えや気持ちなどを表現している。	自分の活動を振り返りながら、状況を整理して助けを求めたり、お礼や感謝を伝えたりして、自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。	
			お礼や感謝を伝える														
3																	

教科	科目	単位数	種別	年次
外国語	論理・表現Ⅱ	2	選択科目	2年
使用教科書	EARTHRISE English Logic and Expression II Standard(数研出版)		担当者	

学習目標
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

学習方法
教科書の内容を基にしたプリントを中心に授業を進めていくので、授業を大切に理解を深めてください。
自主的に英語を活用する態度を身に付け、実践していきましょう。

育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。

以上の観点をふまえ、
・授業での取り組み、単元テスト、小テスト、パフォーマンステストなどを総合的に評価します。

担当者から
授業で学んだことを理解し、ペアワーク、グループワークなどで実践して定着させましょう。

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法	
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
4	自分や身近な人について	遊ぶやスポーツを紹介する	順序だてて説明する										順序だてて説明し、相手の知識に合わせて説明する表現を理解し、多様な語句や文を用いて工夫して伝える技能を身に付けている。	順序だてて、相手の知識に合わせた説明を、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えている。	自分の活動を振り返りながら、順序だてて、相手の知識に合わせた説明を、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えようとしている。	単元テスト 小テスト パフォーマンステスト
			聞き手の知識に合わせて説明する													
			PRする													
5			事実と意見を区別する									事実と意見を区別して述べ、文化や習慣を説明する表現を理解し、多様な語句や文を用いて工夫して伝える技能を身に付けている。	事実と意見を区別し、文化や習慣に関する説明を、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えている。	自分の活動を振り返りながら、事実と意見を区別し、文化や習慣に関する説明を、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えようとしている。	単元テスト 小テスト パフォーマンステスト	
6		文化や習慣を説明する									利点と欠点を述べる表現や話題を発展させる表現を理解し、多様な語句や文を用いて工夫して伝える技能を身に付けている。	利点と欠点、話題を発展させた説明を、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えている。	自分の活動を振り返りながら、利点と欠点、話題を発展させた説明を、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えようとしている。			
7			話題を発展させる。									主張の理由を説明する表現や理由を要約する表現を理解し、多様な語句や文を用いて工夫して伝える技能を身に付けている。	主張の理由、理由の要約を、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えている。	自分の活動を振り返りながら、主張の理由、理由の要約を、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えようとしている。	単元テスト 小テスト パフォーマンステスト	
8			理由を要約してまとめる									共感を述べる表現や解決策を提案する表現を理解し、多様な語句や文を用いて工夫して伝える技能を身に付けている。	共感を述べる表現や解決策の提案を、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えている。	自分の活動を振り返りながら、共感を述べる表現や解決策の提案を、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えようとしている。		
9			共通感を述べる									理由を述べたり例を挙げたり反駁したり引用したりする表現を理解し、多様な語句や文を用いて工夫して伝える技能を身に付けている。	ディベートにおける理由・例示・反駁・引用を、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えている。	自分の活動を振り返りながら、ディベートにおける理由・例示・反駁・引用を、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えようとしている。	単元テスト 小テスト パフォーマンステスト	
10			解決策を提案する									理由を述べたり例を挙げたり反駁したり引用したりする表現を理解し、多様な語句や文を用いて工夫して伝える技能を身に付けている。	ディベートにおける理由・例示・反駁・引用を、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えている。	自分の活動を振り返りながら、ディベートにおける理由・例示・反駁・引用を、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えようとしている。		
11			反駁する・引用する													

教科	科目	単位数	種別	年次	
外国語	実用英語	2	選択科目	3年	
使用教科書	なし			担当者	

学習目標
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

学習方法
英語を使うことに興味関心を持ち、積極的に活動をして、自分で使うことができる表現を増やしていくこと。
間違いを恐れずに、楽しみながら身に付けていきましょう。

育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。

以上の観点をふまえ、
単元テスト、小テスト、課題などを総合的に評価します。

担当者から
プリントを中心に授業を進めます。様々な文法項目を理解しながら、情報を発信したり、受け取ったりする練習をします。
様々なトピックを取り入れ、英会話や読解を行います。

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法	
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
4	基本5文型	文の種類・第1~5文型	文法事項を理解して、英語で発信する。										主語、動詞、文構造、疑問文と否定文、品詞、句と節について理解している。	英語で表現するときに、まずはやさしい日本語に言い換えたり、発想自体を変えたりするなどの技能を身につけている。	英語で表現するときに、まずはやさしい日本語に言い換えたり、発想自体を変えようとしている。	単元テスト 単語等の小テスト スピーキングテスト
		目的語と補語	あるまとまった内容について英語で理解する。													
5	時制の理解	現在形・過去形・未来	文法事項を理解して、英語で発信する。										動詞の時制の意味や働きについて理解している。動詞の様々な時制を用いて、自分のことや身近な人のことについて、伝え合う技能を身につけている。	現在・過去・未来に関する情報を、論理的に詳しく書くことや話して伝え合うことができる。	現在・過去・未来に関する情報を、論理的に詳しく書くことや話して伝え合うことができる。また発話を振り返り、改善点を見出そうとしている。	
		進行形・完了形	あるまとまった内容について英語で理解する。													
6	助動詞	助動詞の働き	文法事項を理解して、英語で発信する。										助動詞の意味や働きについて理解している。助動詞を用いて、自分のことや身近な人のことについて、伝え合う技能を身につけている。	可能・許可、義務、依頼についての情報を論理的に書いたり、話して伝え合うことができる。	可能・許可、義務、依頼についての情報を論理的に書いたり、話して伝え合うことができる。また発話を振り返り、改善点を見出そうとしている。	
		助動詞と同じ意味の表現	あるまとまった内容について英語で理解する。													
7	態	能動態と受動態	文法事項を理解して、英語で発信する。										態の意味や働きについて理解している。受動態を用いて、与えられた設定について、伝え合う技能を身につけている。	与えられた設定についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	与えられた設定についての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出そうとしている。	
		受動態の未来・完了	あるまとまった内容について英語で理解する。													
8	不定詞	名詞用法・形容詞用法・副詞用法	文法事項を理解して、英語で発信する。										不定詞の意味や働きについて理解している。不定詞を用いて、自分のことや身近な人のことについて、伝え合う技能を身につけている。	自分の目標や健康維持に関する情報を論理的に詳しく書いたり、話して伝え合うことができる。	自分の目標や健康維持に関する情報を論理的に詳しく書こうしたり、話して伝え合おうとしている。	
		不定詞を使った表現	あるまとまった内容について英語で理解する。													
9	動名詞	主語・補語・目的語	文法事項を理解して、英語で発信する。										動名詞の意味や働きについて理解している。動名詞を用いて、自分の興味関心のあることを伝え合う技能を身につけている。	自分の好きなことと興味のあることなどについての情報を、論理的に詳しく書いたり、話して伝え合うことができる。	自分の好きなことと興味のあることなどについての情報を、論理的に詳しく書こうしたり、話して伝え合おうとしている。	
		動名詞を使った表現	あるまとまった内容について英語で理解する。													
10	分詞	現在分詞と過去分詞	文法事項を理解して、英語で発信する。										分詞の意味や働きについて理解している。分詞を用いて、自分の周りの自然や環境について、伝え合う技能を身につけている。	自分の周りの自然や環境に関する情報を、論理的に詳しく書き、わかりやすくプレゼンテーションができる。	自分の周りの自然や環境に関する情報を、論理的に詳しく書こうとし、わかりやすくプレゼンテーションをしようとしている。	
		分詞を使った表現	あるまとまった内容について英語で理解する。													

11	比較	比較級と最上級	文法事項を理解して、英語で発信する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	比較の意味や働きについて理解している。比較表現を用いて、自分のことや身近な人のことについて、伝え合う技能を身につけている。	自分の生活環境に関して比較したことについて、論理的に詳しく書いたり、話して伝え合うことができる。	自分の生活環境に関して比較したことについて、論理的に詳しく書こうしたり、話して伝え合おうとしている。
11		比較を使った表現	あるまとまった内容について英語で理解する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
12	関係代名詞	主格・目的格・所有格	文法事項を理解して、英語で発信する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	関係代名詞の意味や働きについて理解している。関係代名詞を用いて、自分が達成したこと・しなかったことについて、伝え合う技能を身につけている。	自分が達成したこと・しなかったことについて、論理的に詳しく書き、わかりやすくプレゼンテーションができる。	自分が達成したこと・しなかったことについて、論理的に詳しく書こうしたり、わかりやすくプレゼンテーションをしようとしている。
12		関係代名詞を使った表現	あるまとまった内容について英語で理解する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
1	仮定法	仮定法過去・仮定法過去完了	文法事項を理解して、英語で発信する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	仮定法の意味や働きについて理解している。仮定法を用いて、自分のことや身近な人のことについて、伝え合う技能を身につけている。	自分の身の回りのことや、自分か他の誰かの願望を、相手にわかりやすく伝えることができる。また相手の発言に対して簡潔に感想を述べることができる。	自分の身の回りのことや、自分か他の誰かの願望を、相手にわかりやすく伝えようとしている。また相手の発言に対して簡潔に感想を述べようとしている。
1		仮定法を使った表現	あるまとまった内容について英語で理解する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			

教科	科目	単位数	種別	年次	
外国語	応用英語	2	選択科目	3年	
使用教科書	なし			担当者	

学習目標
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

学習方法
幅広いジャンルの様々なテーマを選び、英文を読み、聞き、話し、書き、問いに答えることを通して応用的な英語力を身につける。
また、それを用いて自分の意見を発表したり、他者と意見交換しながら、英語特有の感覚や英語で思考する力を身につける。

育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。

以上の観点をふまえ、
単元テスト、小テスト、課題などを総合的に評価します。

担当者から
プリントを中心に授業を進めます。多様な英文のスタイルに触れながら、素早く正確に情報をつかんでいくための文法、構文、語いの定着を図ります。英語を得意とする者、または英語の力のある程度の高い位置まで引き上げたい生徒向けの授業です。

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法	
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
4	1 第5文型	第5文型の理解	第5文型の用法を理解し、場面や状況に応じて活用する。	○									主語、動詞、文構造、疑問文と否定文、品詞、句と節について理解している。	英語で表現するときに、まずはやさしい日本語に言い換えたり、発想自体を変えたりするなどの技能を身につけている。	英語で表現するときに、まずはやさしい日本語に言い換えたり、発想自体を変えようとしている。	単元テスト 単語等の小テスト 課題への取り組み
			筆者および発言者の内容を正確に理解する。	○		○										
			自分の考えや調べた情報を発表する。	○	○		○									
5	2 仮定法	仮定法の理解	仮定法の用法を理解し、場面や状況に応じて活用する。	○						○	○		仮定法過去・仮定法過去完了を用いた文の形・意味・用法を理解している。 場所に関連した表現を用いるなどして将来住みたい場所について書く適切な方法を理解している。	将来住みたい場所についての主張を展開するために、具体例とともに述べたりして、読み手を意識しながら首尾一貫性のある文章を書いている。	将来住みたい場所についての主張を展開するために、具体例とともに述べたりして、読み手を意識しながら首尾一貫性のある文章を書こうとしている。	
			筆者および発言者の内容を正確に理解する。	○		○					○					
			自分の考えや調べた情報を発表する。	○	○		○									
6	3 分詞構文	分詞構文の理解	分詞構文の用法を理解し、場面や状況に応じて活用する。	○							○	○	分詞構文を用いた文の形・意味を理解している。 フォーマルな文体でEmailを書き、目的を伝えたり質問をしたりする方法を理解している。	フォーマルなEmailを書く場面や読み手を意識して目的を伝えたり、質問内容を書いたりしている。	フォーマルなEmailを書く場面や読み手を意識して目的を伝えたり、質問内容を書こうとしている。	
			筆者および発言者の内容を正確に理解する。	○		○					○					
			自分の考えや調べた情報を発表する。	○	○		○									
7	4 特殊構文	特殊構文	特殊構文の用法を理解し、場面や状況に応じて活用する。	○							○	○	否定表現を用いた文の形・意味を理解している。 語、句、文における強勢やイントネーション、区切りを理解している。	人物の経歴や業績の紹介について、知っていることや調べた内容を基に、聞き手に伝わるように情報を簡潔に伝えている。	人物の経歴や業績の紹介について、知っていることや調べた内容を基に、聞き手に伝わるように情報を簡潔に伝えようとしている。	
			筆者および発言者の内容を正確に理解する。	○		○					○					
			自分の考えや調べた情報を発表する。	○	○		○									
8	5 原因・理由を表す構文	原因・理由を表す構文の理解	原因理由の構文の用法を理解し、場面や状況に応じて活用する。	○							○	○	理由を述べるとき表現の形・意味・用法を理解している。	相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、相手が納得できるよう論理を一貫させて理由を述べたりして、自分の考えや気持ちなどを書いて伝えている。	相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、相手が納得できるよう論理を一貫させて理由を述べたりして、自分の考えや気持ちなどを書いて伝えようとしている。	
			筆者および発言者の内容を正確に理解する。	○		○					○					
			自分の考えや調べた情報を発表する。	○	○		○									
9	6 情報の読み取り	情報を読み取る	日常生活に関連した掲示やメモから概要をとらえる。	○		○					○		ブログの形式や特徴を理解している。 日常的な話題について、ブログ形式のテキストを読み、過去の経験の内容を読み取る技能を身に付けている。	自分の考えをまとめるために、日常的な話題について、雑誌記事や会話文、ブログ形式のテキストを読み、条件と帰結の関係を捉えたり、具体例や過去の経験を読み取ったりしている。	自分の考えをまとめるために、日常的な話題について、雑誌記事や会話文、ブログ形式のテキストを読み、条件と帰結の関係を捉えたり、具体例や過去の経験を読み取ろうとしている。	
			必要な情報を素早く読み取る。	○		○					○					
			自分が集めた情報や考えを表現する。	○		○	○									

10	7 情報の整理	情報を整理する	イラストや写真を参考にしながら、状況の推測する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	条件節や帰結節、命令文を用いた文の意味を理解している。具体例を示しながら物事を描写する方法を理解している。	互いの考えを深めるために、聞いたり読んだりした経験について、伝える内容を整理し、自分の考え・気持ちを話して伝え合っている。	互いの考えを深めるために、聞いたり読んだりした経験について、伝える内容を整理し、自分の考え・気持ちを話して伝え合おうとしている。
10			事実と意見を区別しながら読む。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
10			自分が集めた情報や考えを表現する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
11	8 概要把握	概要を把握する	ブログや新聞記事を読み、内容の概要が把握する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	時系列に情報が整理された文の構成を理解している。パンフレットの形式や特徴を理解している。	自分の考えをまとめるために、社会的な話題について、伝統文化や言語に関する情報が掲載されているパンフレットや展示物のパネルを読み、概要や年表、解説を読み取っている。	自分の考えをまとめるために、社会的な話題について、伝統文化や言語に関する情報が掲載されているパンフレットや展示物のパネルを読み、概要や年表、解説を読み取ろうとしている。
11			順番や感情の変化を時系列で追う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
11			自分が集めた情報や考えを表現する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
11	9 図表の読み取り	図表から読み取る	複数の記事から必要な情報を読み取る。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	図表・グラフの解説に用いられる語句、表現を理解している。	素早く正確に図表やグラフから状況を読み取り、簡潔に要点をまとめ、相手を意識して伝えている。	素早く正確に図表やグラフから状況を読み取り、簡潔に要点をまとめ、相手を意識して伝えようとしている。
12			複数ある意見を整理して読み取る。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
12			自分が集めた情報や考えを表現する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
12	10 物語文の読み取り	物語文を読み取る	時を表す表現を理解し、時系列で読み取る。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	ストーリーで用いられる語、句、文の理解を基に、ストーリーの内容について、概要や詳細、作者のユーモア(動詞・動詞句の読み取り間違い)、登場人物の行き違いを読み取る技能を身に付けている。	自分の考えをまとめるために、ストーリーの内容について、動詞・動詞句が表す意味の違いを捉えたり、そのことで生じ得る行き違いについて考えたりしている。	自分の考えをまとめるために、ストーリーの内容について、動詞・動詞句が表す意味の違いを捉えたり、そのことで生じ得る行き違いについて考えようとしている。
12			パラグラフごとにタイトルをつける。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
1			自分が集めた情報や考えを表現する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			

教科	科目	単位数	種別	年次	
外国語	教養英語	2	選択科目	2年	
使用教科書	なし			担当者	

学習目標
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

学習方法
英語を使うことに興味関心を持ち、積極的に活動をして、自分で使うことができる表現を増やしていくこと。
間違いを恐れずに、楽しみながら身に付けていきましょう。

育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。

以上の観点をふまえ、授業での取り組み、パフォーマンステスト、レポートなどで総合的に評価する。

担当者から
プリント中心に授業を進めていきます。
英語が苦手でも、日常生活や日本文化について、英語を使ってコミュニケーションを図ることに興味がある生徒向けの授業です。

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法		
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4	自分について語る	Self-introduction	情報をまとめ伝え、コミュニケーションを取る。										自己紹介する時の表現を理解し、学んだ表現を適切に運用する技能を身に着けている。	適切な表現を用いて情報をまとめ、自己紹介を通してコミュニケーションを取っている。	適切な表現を用いて情報をまとめ、自己紹介を通してコミュニケーションを取ろうとしている。	発表テスト、レポート等	
		School Life	情報をまとめ伝え、コミュニケーションを取る。										学校生活について説明する表現を理解し、学んだ表現を適切に運用する技能を身に着けている。	適切な表現を用いて情報をまとめ、学校生活についてコミュニケーションを取っている。	適切な表現を用いて情報をまとめ、学校生活についてコミュニケーションを取ろうとしている。		
		Hobbies	情報をまとめ伝え、コミュニケーションを取る。											趣味について説明する表現を理解し、学んだ表現を適切に運用する技能を身に着けている。	適切な表現を用いて情報をまとめ、趣味についてコミュニケーションを取っている。		適切な表現を用いて情報をまとめ、趣味についてコミュニケーションを取ろうとしている。
7	場面に就いて語る	Directions / sightseeing	場面に就いた表現を理解し、適切に使う。										道案内や観光で用いる表現を理解し、学んだ表現を場面に就いて運用する技能を身に着けている。	場面に就いた表現を適切に使って、道案内や観光でのやりとりに関して表現している。	場面に就いた表現を適切に使って、道案内や観光でのやりとりに関して表現しようとしている。	発表テスト、レポート等	
		Restaurant / Shopping	場面に就いた表現を理解し、適切に使う。										食事や買い物で用いる表現を理解し、学んだ表現を場面に就いて運用する技能を身に着けている。	場面に就いた表現を適切に使って、食事や買い物でのやりとりに関して表現している。	場面に就いた表現を適切に使って、食事や買い物でのやりとりに関して表現しようとしている。		
		Telephone / Hospital	場面に就いた表現を理解し、適切に使う。											電話や通院で用いる表現を理解し、学んだ表現を場面に就いて運用する技能を身に着けている。	場面に就いた表現を適切に使って、電話や通院でのやりとりに関して表現している。		場面に就いた表現を適切に使って、電話や通院でのやりとりに関して表現しようとしている。
		Station / Airport	場面に就いた表現を理解し、適切に使う。											駅や空港で用いる表現を理解し、学んだ表現を場面に就いて運用する技能を身に着けている。	場面に就いた表現を適切に使って、駅や病院でのやりとりに関して表現している。		場面に就いた表現を適切に使って、駅や病院でのやりとりに関して表現しようとしている。
11	日本について語る	Japanese culture 1	自国の文化を理解し、英語を駆使して伝える。										自国の文化について理解し、学んだ英語を駆使してプレゼンテーションする技能を身に着けている。	適切な表現を用いて、自国の文化について、相手に伝える工夫をしながらプレゼンテーションしている。	適切な表現を用いて、自国の文化について、相手に伝える工夫をしながらプレゼンテーションしようとしている。	発表テスト、レポート等	
		Japanese culture 2	自国の文化を理解し、英語を駆使して伝える。										自国の文化について理解し、学んだ英語を駆使してプレゼンテーションする技能を身に着けている。	適切な表現を用いて、自国の文化について、相手に伝える工夫をしながらプレゼンテーションしている。	適切な表現を用いて、自国の文化について、相手に伝える工夫をしながらプレゼンテーションしようとしている。		
		Japanese culture 3	自国の文化を理解し、英語を駆使して伝える。											自国の文化について理解し、学んだ英語を駆使してプレゼンテーションする技能を身に着けている。	適切な表現を用いて、自国の文化について、相手に伝える工夫をしながらプレゼンテーションしている。		適切な表現を用いて、自国の文化について、相手に伝える工夫をしながらプレゼンテーションしようとしている。

2	Japanese culture 4	自国の文化を理解し、英語を駆使して伝える。	○	○						自国の文化について理解し、学んだ英語を駆使してプレゼンテーションする技能を身につけている。	適切な表現を用いて、自国の文化について、相手に伝える工夫をしながらプレゼンテーションしている。	適切な表現を用いて、自国の文化について、相手に伝える工夫をしながらプレゼンテーションしようとしている。	発表テスト、レポート等
3	Japanese culture 5	自国の文化を理解し、英語を駆使して伝える。	○	○	○				自国の文化について理解し、学んだ英語を駆使してプレゼンテーションする技能を身につけている。	適切な表現を用いて、自国の文化について、相手に伝える工夫をしながらプレゼンテーションしている。	適切な表現を用いて、自国の文化について、相手に伝える工夫をしながらプレゼンテーションしようとしている。		

教科	科目	単位数	種別	年次	
外国語	教養英語	2	選択科目	3年	
使用教科書	なし			担当者	

学習目標
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

学習方法
英語を使うことに興味関心を持ち、積極的に活動をして、自分で使うことができる表現を増やしていくこと。
間違いを恐れずに、楽しみながら身に付けていきましょう。

育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。

以上の観点をふまえ、授業での取り組み、パフォーマンステスト、レポートなどで総合的に評価する。

担当者から
プリント中心に授業を進めていきます。
英語が苦手でも、日常生活や日本文化について、英語を使ってコミュニケーションを図ることに興味がある生徒向けの授業です。

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法	
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
4	自分について語る	Self-introduction	情報をまとめ伝え、コミュニケーションを取る。										自己紹介する時の表現を理解し、学んだ表現を適切に運用する技能を身に着けている。	適切な表現を用いて情報をまとめ、自己紹介を通してコミュニケーションを取っている。	適切な表現を用いて情報をまとめ、自己紹介を通してコミュニケーションを取ろうとしている。	発表テスト、レポート等
		School Life	情報をまとめ伝え、コミュニケーションを取る。										学校生活について説明する表現を理解し、学んだ表現を適切に運用する技能を身に着けている。	適切な表現を用いて情報をまとめ、学校生活についてコミュニケーションを取っている。	適切な表現を用いて情報をまとめ、学校生活についてコミュニケーションを取ろうとしている。	
		Hobbies	情報をまとめ伝え、コミュニケーションを取る。										趣味について説明する表現を理解し、学んだ表現を適切に運用する技能を身に着けている。	適切な表現を用いて情報をまとめ、趣味についてコミュニケーションを取っている。	適切な表現を用いて情報をまとめ、趣味についてコミュニケーションを取ろうとしている。	
7	場面にに応じて語る	Directions / sightseeing	場面に応じた表現を理解し、適切に使う。										道案内や観光で用いる表現を理解し、学んだ表現を場面に応じて運用する技能を身に着けている。	場面に応じた表現を適切に使って、道案内や観光でのやりとりに関して表現している。	場面に応じた表現を適切に使って、道案内や観光でのやりとりに関して表現しようとしている。	発表テスト、レポート等
		Restaurant / Shopping	場面に応じた表現を理解し、適切に使う。										食事や買い物で用いる表現を理解し、学んだ表現を場面に応じて運用する技能を身に着けている。	場面に応じた表現を適切に使って、食事や買い物でのやりとりに関して表現している。	場面に応じた表現を適切に使って、食事や買い物でのやりとりに関して表現しようとしている。	
		Telephone / Hospital	場面に応じた表現を理解し、適切に使う。										電話や通院で用いる表現を理解し、学んだ表現を場面に応じて運用する技能を身に着けている。	場面に応じた表現を適切に使って、電話や通院でのやりとりに関して表現している。	場面に応じた表現を適切に使って、電話や通院でのやりとりに関して表現しようとしている。	
		Station / Airport	場面に応じた表現を理解し、適切に使う。										駅や空港で用いる表現を理解し、学んだ表現を場面に応じて運用する技能を身に着けている。	場面に応じた表現を適切に使って、駅や病院でのやりとりに関して表現している。	場面に応じた表現を適切に使って、駅や病院でのやりとりに関して表現しようとしている。	
11	日本について語る	Japanese culture 1	自国の文化を理解し、英語を駆使して伝える。										自国の文化について理解し、学んだ英語を駆使してプレゼンテーションする技能を身につけている。	適切な表現を用いて、自国の文化について、相手に伝える工夫をしながらプレゼンテーションしている。	適切な表現を用いて、自国の文化について、相手に伝える工夫をしながらプレゼンテーションしようとしている。	発表テスト、レポート等
		Japanese culture 2	自国の文化を理解し、英語を駆使して伝える。										自国の文化について理解し、学んだ英語を駆使してプレゼンテーションする技能を身につけている。	適切な表現を用いて、自国の文化について、相手に伝える工夫をしながらプレゼンテーションしている。	適切な表現を用いて、自国の文化について、相手に伝える工夫をしながらプレゼンテーションしようとしている。	
		Japanese culture 3	自国の文化を理解し、英語を駆使して伝える。										自国の文化について理解し、学んだ英語を駆使してプレゼンテーションする技能を身につけている。	適切な表現を用いて、自国の文化について、相手に伝える工夫をしながらプレゼンテーションしている。	適切な表現を用いて、自国の文化について、相手に伝える工夫をしながらプレゼンテーションしようとしている。	